

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ ( / )
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0776.88	beko (オスと区別してメスだけいうとあり)	
0840.33	beko 〈古, 多〉, uʃi 〈多〉	
0861.48	onnabeko 〈大正時代までこう言っていた〉	
0873.94	beko 〈古〉	mēuʃi
0894.61	menuʃi 〈生れた時 men〉	
0897.91	×ウシ ヒンギョウ (新) 市場の人との交渉が 多くなったためである。	
1739.10	uʃi 〈めうしかいなんから〉	
1778.45	uʃi, meūʃi 〈ウシ工化。といえば乳牛〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	( 2 )

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1816.52	ウシ といかない	
1848.24	menta 〈めつににきかない〉	ufi
1859.84	? memst といだらうか。	
1862.48	メウシ 〈新〉	
1863.48	メウシ 〈稀〉, ヒンギョウ 〈商売ではヒンギョウ〉	
1942.03	ufi 〈ふつう見れば <sup>ただ</sup> ufi〉 〈mentabekoは言わない〉	
2700.48	メンツ、 ウシ 〈飼育している牛はすべてメウシなのである。 メンツという名は生れたばかりのオス・メスの 判定の豚だけに使われる。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) ( ) は厳密にする。

資料番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	( 3 )

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2722.67	NR (ツヤクかな。いせ。ツヤクは女馬にな?)	
2783.06	mejka 〈右〉	onayobego
2785.74	onayomsī, * mekka	
2795.01	hadabeko 〈母牛〉	mikka
2803.22	ウシ ウシは牝にきまっている。	
3639.49	meūsi, } 特殊なし onayobego	
3649.16	NR bego } 特殊なし ūsi	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (4)
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3649.64	onayobego 特殊なし	
3706.91	mēkka <右>	onayobegō
3715.51	? onayobeko	
3720.71	onayobego 特殊なし	
3722.97	onayobego 特殊なし	
3727.81	ウウス (乳牛)	オナゴヘゴ
3733.88	オナ<ヘゴ>	
3745.62	ヘゴ<雄雌とも オナゴをフケオに単にヘゴと普通 言う。>	オナゴヘゴ
3752.89	onayobego 特殊なし	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	④ 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(5)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3753.88	オナゴベゴ 〈古〉	オナゴウス
3754.76	オナゴベゴ 〈古〉	オナゴウス
3770.49	onagobego 特殊なし	
3780.65	同 上	
3783.08	onagousi 臨時ナときはゴになる。	
3791.02	meusi ④ damabeko 〈むりに言えは〉 onagobeko 〈むりにいえは〉	
4589.83	bakko 〈古〉	njo:bousi
4618.49	NR 〈他人は onago no usi といふ〉	
4643.47	usi 〈としかいわない。usi といえは 普通メウシをさす〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		(B 除いた共通語)	(6)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4644.10	mjo:zi <多い>	onnausi
4648.04	onagousi <多>	onnausi
4652.79	NR (中三者は [mjo:dzi] と書、たか 被調査者は (おきりとは認めなかつた。) (方言集には mjo:dzi 又は mjo:dziusi) がある。)	
4663.49	usi → といは 普通牝牛を言う。	
4666.17	onagousi <これを使うことか多い>	onnausi
4676.60	onagousi <同上>	onnausi
4685.10	NR <usi おすめすの区別なし(ない)>	
4689.62	onagousi <共>, onajobego <希>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (7)
220	208		
項目名			
めうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4694.26	mena 〈希〉〈若い時多く使った〉, onnausi 〈今はこれを多く使う〉	
4697.92	onnausi 〈希〉	
4712.54	damsi 〈新〉, meusi 〈早く言う場合〉(?) 〈昔から使っていたことである〉	dakkousi
4713.45	mes <del>st</del> usi 〈早く言うとき〉	onayousi
4713.60	onayousi 〈?〉	
4714.22	onajobego 〈古〉, onayousi 〈新〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号 220	地図番号 208	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (8)
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4714.88	mewst 〈新〉	
4716.20	{ #mest, *mewst	
4724.75	onagobego 〈古〉, onagoust 〈新〉	
4735.37	mewst 〈?〉	mebego
4742.43	onnabego (オナゴベコとは言わない語である。 081ではオナゴかえているか。)	
4743.44	onnaust 〈?〉, onnabeko 〈B〉〈?〉	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中で情報の情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買用番号 220	地図番号 208	㊤ 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(9)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4760.98	onagobēko いほ狭ue	
4771.58	onagobego 〈希〉	
4772.48	onagobego 〈古〉	meusi
4780.64	meusi 〈オナゴウシ(牛)といはえわたぬ〉	
4781.86	onnawasi } 〈希〉 onagowasi } onagobego }	
4784.41	onagobego 〈希〉	
5462.29	ハハ 〈大きい牝牛〉	オナシ
5471.59	ハハ 〈大〉	オナシ
5507.09	meusi ( ? )	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(10)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5568.57	〈卑〉ヒンタ (牛に限らず他の動物の名を呼ぶ場合にも使われる。)	ヒウシ
5568.92	ヒイ 〈ホオ、ヒイは馬以外の動物の雄、雌に使う。〉	
5569.36	〈昔〉ヒンタウシ	メスウシ
5579.10	? メスウシ 〈英〉	
5579.42	ʃiŋŋjɯ: 〈いいことば〉	meʃuɯʃi
5588.02	ヒイ (他の動物の場合にも使う)	メウシ
5588.81	meuʃi [oname か 方言らしい]	
5589.30	ヒイ (ヒイは牛だけに限らず、一般に他の動物を呼ぶことばとされている。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (11)
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5597.78	エイ 〈牛に限らず、他の動物を呼ぶことばである〉メヌシ	
5602.99	mewsi 〈共〉	
5613.80	onnausi 〈多〉	mewsi
5617.85	onnausi 〈希〉	
5618.43	onnausi 〈希〉	
5623.29	usi 〈たとえば「ます」牝牛のこと〉	onnausi
5625.91	onnausi [mewsi]	
5631.16	uname 〈古〉	onnausi
5635.65	オンナウシ 〈メウシトイフイ〉	
5641.73	[oname]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕などに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (12)
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5644.74	メス オンノウシ } 〈メウシト ヌフタイ〉	
5645.89	メキユウ 〈新〉	メス, オンノウシ
5648.96	メスウシ 普	オンノウシ
5649.65	メウシ 〈多〉	メスウシ
5655.57	メス 〈メウシといわない〉	
5658.89	メス メウシ } とは普通言わない オンノウシ	
5659.78	? オンノウシ	
5666.18	メスキユウ 〈メウシト ヌフタイ〉	
5668.38	メス 〈必要な時は ウシ/メスという〉	
5668.51	ウシ 〈おまめを区別した言葉の言い方をした〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買回番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	(13)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5670.47	# oname 〈希〉, meuſi 〈普〉	
5672.67	[menta] 〈希〉	onnauſi
5675.36	メウシ 〈多〉	オレトウシ
5676.10	me'sud(uſi) ( )はたいてい言わない	
5676.52	メス / ウシ 219と同様.	
5677.60	メスウシ (馬の場合と同じではないか)	
5679.86	meüſt (荒) mesü mesüüſt mesüüſt	
5681.41	? mesu-uſi	onna-uſi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (14)
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5682.34	mesu < mesu とうだけた >	
5685.02	onnaufsi (オナノウシはときいたら こう答えた)	
5687.82	メウシ (219と同じく、別にないのこと)	
5687.86	メウシ (と言いかたと首をかしたる)	メス
5696.68	ufsi < この地でufsiといえは雌牛を指す >	
5698.91	mesüufsi < ? >	
5699.25	meufsi < 略農業をしていないので牛は最近いなくなつた。但し、牛を見ないと言うのでは「ない。」 >	
5702.07	meufsi (この土地ではonnaufsiと普通に言う)	
5703.68	mesü < 単にこ言う >	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中の情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ (15)
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5711.85	mesumsi 〈共〉, onnabeko 〈古〉, onnausi 〈希〉	〈皆おなじ〉 〈onnausiをもっともろ〉
5712.70	NR [onnabeko]	
5723.36	onnausi 〈新〉	onayousi
5731.29	NR	〈飼っているのはお母の牛ばかりなので、お母の牛のことを特にいう言葉がなはいはかりでなく、お母の牛のことを特に区別して言うことがない。〉
5732.13	onnausi, * mesumsi	
5732.78	mesü	〈そのものについていろいろまちがわぬ〉
5733.02	mesü	〈単にこう言うだけ〉

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (16)
220	208		
項目名		めうし	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5741.25	mejju: mesumʃi 〈希〉 84に調査した地を被調査者= ふれは onname.	
5752.32	uʃi 〈普通 ウシといえはマス〉	
5760.24	mēsuno uʃime 〈多〉	mēsuno uʃinēmbō
5761.77	onname (まきに215ヶ答が同じであったが、 紛れはしたぬるときいてみると、今牛たけ を飼っているのが普通は牛にフいていう とが、多く、不便はない といとである。)	
5782.25	meuʃi (市街地などで牛は飼っていない。此邦 には多い。)	
5782.94	meʷʃi 〈ヶ〉	mēsui:ʃi, *ōnnāuʃi
5790.03	onnameʃi いて言いと……。 — 念のため —	



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

買付番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めし		[B 除いた共通語]	(17)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5790.39	英 mesum <sup>u</sup> si	ama <sup>u</sup> si
5791.23	mesum <sup>u</sup> si 「メス」だけでも使う。	mē <sup>u</sup> si
5793.63	meu <sup>u</sup> si <多>	mesu
5793.74	mejju: <馬喰の取引の時を使う>, onna <sup>u</sup> si <多>	
6338.99	[オナミ]	
6348.71	メウシ <?>	
6349.80	çin <新>	onami
6374.68	[ウナミ]	
6377.11	ウナミ, <メシ. メス と同じ> メシ, メス	

← 採用

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(18)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6378.70	うたみ 〈多〉	×ンウシ
6384.25	urname 〈古, 多〉	meufi
6389.56	オタミ (希)	×✓
6395.61	[unami]	meũufi
6398.07	〈?〉 unami	
6406.92	オント× 多	×ズ
6415.78	basi 〈多〉	oname
6421.79	basi 〈多〉	onami
6421.82	ŕiggju 〈新, 多〉	onami
6423.75	basi 〈多〉	onami

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買用紙番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
220	208		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(19)
めうし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6424.89	baʃi 湯原町豊栄 のname	
6424.92	バシ (子と産んでもよいようになった牛), オナミ (総称)	
6427.40	oname {多}	men'indzi
6435.03	オナミ <成牛>, メッコ <幼牛>	メッコ
6440.81	baʃi (老牛)	onami
6457.51	誘 oname	men
6462.59	メナミ ?	
6466.16	ヨナミ <乳牛を扱うようになったから言うようになった。自分も使う。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は風密にする。

資料番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(20)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6467.73	uji 此牛のいしなうさ。① ufinomen	
6479.51	mey (雑)の意。単にmeyで済む。	
6481.94?	メス	
6485.30	メウシ、 メシ	〈 アカウシメシ、クロウシメシなど 言う。アカウシメシは牛肉にして 最も味がよい。〉
6486.07	? メシ	メウシもあかし。やはりメシという方が という程々の答。牛を切実に見ていない のである。
6486.93	メウシ	〈 最も普通〉
6491.49	oname	メシ、 メウシ
	( 海岸部の大浜部落では menta-usi とも言う。 )	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中ででの情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

頁数【番号】	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (2/)
220	208		
項目名 めし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6491.65	men 〈希〉	oname
6494.55	#メ *!オ+ハ (コトハ、オ+ハとは 雄と雌と対の ことばであることを強調した。)	
6496.56	menusi 普, oname (古), menta (卑)	
6504.44	meüsi 優先	onagoüsi
6506.55	メソ (牛に限らず他の動物家畜を呼ぶ名にも使)	
6507.72	メス 〈他の動物の雌にも使〉	
6509.43	メウシ 〈英〉〈方言はない〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	④ 普通注記	ページ
項目名 めうし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(22)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6512.67	meusi (英?)	
6513.24	NR < 特に名はない >	
6516.15	メンマ (他の家畜にも使うことは)	メン
6517.31	メウシ (オウシに対して), 牛のメン (ふたんはこのように答えていると答えた)	
6518.30	メンマ (牛に限らず他の家畜の場合にも言)	
6519.67	メンマ < 牛に限らず馬、豚、羊などにも使う >	
6520.94	オナメ < 畜 >	メンマ, メンクシ
6522.03	メン (オナメ), オナメ (コトイメ)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ . (23)
220	208		
項目名			
めうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6523.86	menta, } men, } meujsi } < 牝のこゝであつた と言はは 牝牛のこゝだ とわかる。3 集めていゝは meujsi.	
6526.04	x <sub>2</sub> < 馬・羊・豚などの牝にも使はる >	ウシノメ
6526.45	x <sub>2</sub> } ( 牛のめが限らば 例えは 馬のめもメだ ) x <sub>2</sub> , } x <sub>2</sub> である。 < 英 > x <sub>2</sub> ウシ	
6526.98	44ウシ < 乳牛でなくは と言はる > x <sub>2</sub> ウシ < 牝 >	
6528.21	#? meujsi, < 他家畜にも使はる > #? mentsu < 自家の家では 使はる といふので よく知らない。 >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項 目 名 めし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(24)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6529.88	mesu 〈他の家畜にも使う〉	
6532.70	木コウレ 〈新〉	ムコ
6532.93	オンナウシ (古) <sup>オナメウシ</sup> 女奴牛の意であるとのことだ。	メウシ
6533.36	menta 〈牛以外のものにも用いる〉	
6536.32	menta (めしではなきて めす一般と思うが 被調査者はこう言いと 主張する。)	
6537.58	mesu 〈共〉 } 〈他の家畜に使用可能〉 menta	
6538.07	menta 〈他の家畜にも使う〉	
6538.46	menta 〈他の動物にも使う〉	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

実用番号	地図番号	① 普通注記	ページ
220	208		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(25)
めうし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6539.78	mesu 〈お盆. 多量音に使ってよい〉 〈幾分田いかんし。〉	onnausi
6542.27	×2 〈余り多くない〉 牝牛特定の語形かわらないらしい。	
6542.32	オン+× 〈やや古〉	×2夕, ×2
6542.58	×ロウシ ていねいな言い方。	×D
6542.71	menta 牛. 猫. 犬. 鶏でもすていじの? 牛の乳もこういう。	
6544.26	menta 〈犬. 猫の場合には on.men としう〉	
6544.69	[menko]	merd

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		[B] 除いた共通語	
		[C] 除いた特殊語	(26)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6545.19	menta 〈 じういえはメヌウシにきまっている〉	
6545.88	usji 〈 ウシといえはめすに決っている〉	
6546.73	NR 〈 特に言ふことはない〉	
6547.09	menta 〈 地の家畜にも使う〉	
6547.24	? me'usji 〈 自分は牛をわらうていなうてよく知らぬが、皆、me'usji といふと思う。〉	
6547.67	onnausji me'usji 〈 両方とも使われるが、私は me'usji の方が多い気がする。新古語asen (284) はなし〉	
6548.02	menta 〈 地の家畜にも使う〉	
6548.82	menta 〈 同上〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(27)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6549.03	uname 〈牛だけで、他の家畜には使わない〉	
6549.60	[uname] インフォーマントが3歳 45才 による。	
6549.69	mentsü 〈他の家畜にも使う〉	
6553.83	menta (「メンタクシ」とは言わない)	
6554.08	メンタ 〈219 後半と同じ〉	
6554.45	men 〈たぶんメンと言っただけだ〉	
6555.31	usi 〈メヌウシのことをusiという〉	
6556.60	チチウシ 〈乳牛のこと〉	メウシ
6557.54	menta 〈他の家畜にも使う〉	
6558.10	menta 〈但し 豚にも使う〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	② 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (28)
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6559.22	ufi < 普通 いた ufi というだけである >	
6559.46	mesu < 地の家畜にも使う >	
6559.67	mentsu < 同上 > mesu < 英 >、< 肉にまつものを言う場合 >	
6561.49	チチウシ < 乳牛 >	メウシ
6562.22	ウシ < 特称なし >	
6563.43	menta (「メンウシ」とは言わない)	merufi
6563.58	[! mentaufi]	merufi
6563.84	men, } < 牝、雄のことだが、実生活で men, } menta } menta と言うときは牝牛をさすことが多い >	meufi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

頁目番号 220	地図番号 208	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (29)
項目名 めし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6564.51	menda 〈「メンダウシ」とはいわない〉	
6565.09	menta <sup>mentaは</sup> (此語一般の26点と見う。被調査者はこゝ答えた。)	
6566.51	mesu 〈mesumousji と言えは間違いない。メスタよくあはれる牛の毛を kamousji と言ふ〉	
6568.09	men-tsüi 〈他の家畜にも使う〉, men 〈〔共〕〉	
6568.13	mentsu 〈家畜一般に使う〉	
6569.12	→ 次頁へ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買 置 番 号	地 図 番 号	① 普通注記	ページ
220	208		
項 目 名		〔B 除いた共通語〕	(30)
めし		〔C 除いた特殊語〕	

地 点 番 号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6569.12	mentsü 特に牝牛のことをいうことではないか ほかはない。但し、215で「高」たよりに、 牝馬はmenと云い mentsüとはまわ ない。牝牛はmenといわない。 不思議だが習慣だ。	
6571.63	usi <一般には usi というところを指す>	meusi
6572.04	men <多>, menta <少>	
6572.29	men, } (別に「メンウシ」とか「メンタウシ」とか menta } いわない。)	
6572.55	menta <多> 牛のこと。犬などにいわぬ。	
6573.17	menta <「メンタウシ」とは言わぬ>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		(B 除いた共通語)	(31)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6575.17	ウシ, ウレノメウタ < たたウレと云えはめすに決つていた。 無理に云えはウレノメウタと言う。 >	
6575.40	[menta]	me'uzi
6576.56	me'ūji ( [共] ? ), menta 単に此僅の意。	
6581.36	メンタ < メヌウシとは言わない >	
6582.48	menta mentaでオヌ。	
6584.90	メヌ < 農業に使うもの >	me'nu
6590.87	ウシ < ウシといえはメヌの牛をいう (平生使わないが 時に言うときは) メヌノウシをいう。 >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (32)
項目名 めろし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6591.81	#メタウシ (名はない。と言。強いて言ったので。生活語ではない。)	
6592.35	men <多>	menusi
6593.30	me'ũuzi <会話中>	me'ũuzi
6594.67	メタ <牛だけに限らない>	メウシ
6609.02	õnnãuzi (会話中)	
6620.20	ウシ <? 普通。ウシといえばメタ牛のことをいうよりに思う。 >	
66.21.34	meusi <牛の場合だけ>	
66.24.13	————— ↓ 次頁へ	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
220	208		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(33)
めし		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6624.13	oname. onameu <sup>じ</sup> } 同じように使う。 mesu:si 希	
6624.65	mēu <sup>じ</sup> 馬喰は oname との話。	
6628.23	[ <sup>ー</sup> usi] 〈たいた [ <sup>ー</sup> usi]〉	
6630.43	meta 〈meta は m <sup>・</sup> ma にも用う。 但し buta は mesu である。〉	
6634.32	t <sup>じ</sup> iu <sup>じ</sup> いはあん多く使う	onna <sup>じ</sup> , meu <sup>じ</sup>
6635.87	oname 希	mesuu <sup>じ</sup>
6639.29	onna (220 の回答としては onna が来た。 会話の中では onna が来て来た。)	mesu

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (34)
220	208		
項目名			
めし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6639.79	uname(uji) 〈ていねいなときウシかづ〉	
6640.29	mesu 〈他の家畜にも使〉	
6640.76	mesu 〈同上〉	
6645.37	mesumuji 〈新〉	oname
6649.28	uname 〈稀〉	onnaufsi
6650.70	menta 〈「ふた」にも「にわとり」にもい〉	
6651.64	t̄siuji 乳牛をい	mesumuji
6655.87	mesu 〈多く使〉	oname
6698.20	onnaufsi 〈上〉, ama 〈最も普通に使われる〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( ) ( ) は厳密にする。

実用番号 220	地図番号 208	④ 普通注記	ページ
項目名 めうし		(B 除いた共通語)	
		(C 除いた特殊語)	(35)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6710.70	mesu 〈普〉	onnausi
6730.27	onnausi 〈普〉	meusi
6730.33	uname 生れたての乳牛	ringju; mesumsi
7239.29	meusi 〈町方ではウ1〉	
7239.41	unousi? 乳牛	uno:
7247.86	unami tatja: 子牛を乳で生んだとある牛, wakamon また子を生んだことのない牛	
7249.35	[ウ1] 牛買	ウ1
7257.94	uno 〈博愛たさの用語〉	onagousi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (36)
項目名 めし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7268.87	onagousi *unousi	
7269.96	〈新〉uno	onagousi
7279.65	NR 雄牛・雌牛の区別なし	
7302.66	mesuusi (uno 用いたことない—と答う)	
7303.38	menusi ウノ例がぬ。	
7312.69	uno (昔)	
7313.34	onagousi (kot:eとは云々ぬとい)	
7321.87	mett(o:) 単に雌の意。	
7322.81	uno 〈用いたことある。農家でないからよくわかん〉	
7324.96	uno (多し)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (37)
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7326.41	u <sup>h</sup> namī 〈普〉	#onagou <sup>h</sup> si
7330.31	meu <sup>h</sup> si (メウシのほかは、伊之ほう/なととい 言ひ方は 知らないと言ふ)	
7332.27	me <sup>h</sup> u <sup>h</sup> si (uno <sup>h</sup> なし <sup>33 44</sup> 同か <sup>h</sup> と <sup>h</sup> と <sup>h</sup> )	
7332.52	uno (農家ではこう言っている)	
7336.28	unamī <sup>-</sup> 〈古〉	onagou <sup>-</sup> si <sup>-</sup>
7338.48	新・me <sup>h</sup> ko <sup>h</sup> u <sup>h</sup> si	uname
7340.74	〈古〉 uno	mentso:u <sup>h</sup> si
7342.12	uno (bakuru:) 伯樂 から/前いたことは あると <sup>h</sup> 言ふ。	onagou <sup>h</sup> si

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (38)
項目名 めうし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7342.72	onagouji (?)	
7342.76	uno ( <sup>白楽</sup> bakurui: かきう )	onagouji
7345.98	? oname	
7346.54	# uname <古>	me'usi
7350.21	uno <穉> <牛乳 <sup>u</sup> などか使う。自分は強ん <sup>い</sup> 使わぬ>	mentso:usi
7351.09	meo'usi <ういなし>	
7352.14	×ウシ <オナメとはえわオ>	
7363.12	×ウシ <×オメなどは使わぬ>	
7367.25	? uname-	
7367.61	meN <古>, uname <より新>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕などに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買用番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (39)
220	208		
項目名			
めじし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7368.32	uname 〈他所で「たぶん佐伯市在部」おぼえた。〉(この地点に牛はいない)	
7372.96	オナゴウシ(?) 〈? 荒く大きい雌牛もゴウテウシというかも知れない〉	
7374.75	オナメウシ (希)	オナメ
7381.38	〈?〉 オナメ	
7382.97	メウシ 〈女馬と共通〉	オナメ
7385.38	meusi (誤りではないが日常場ではない), *uname	
7402.47	mei (話している場面ではこのように。雌牛雌馬を混同) この点には起こらない。と書いていた。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

買付番号 220	地図番号 208	① 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(40)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7417.79	men (menusi 略)	
7470.29	menta (?)	
7471.38	menusi 参考まで。	
7504.27	men 単に此の意。	
7504.64	? sambe'i <はっきりとした記憶がない>	
7512.43	メソ <多>, メエソ <少>	
7514.21	men <menといはメソウレとまてい>	
7521.16	オナメ <オナメという人もある>	
7522.94	メソ <メソウレといはわからない>	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	A 普通注記	ページ
220	208		
項目名		B 除いた共通語	(41)
めうし		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7523.30	ウナメ, シヨオジ } 〈昔から両方同じく使っている〉	
7533.11	オナメ, ウシ } 〈ただウシといえはメスのこと。オスの方はコシイ。しかし俗称名のウシと区別するならオナメである。〉	
7533.12	ウシ } 〈ただウシといえはメスにまわっている 〔シヨオジという〕(シヨオジが大島での 通用言語。)	
8300.11	オナメ (優)	メン, オナメウシ
8300.25	uʃi 普通は uʃi といえは牝牛。 onagouʃi 区別して言う時。 oname 小牛の時。雌雄を問題にしていう場合。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	④ 普通注記	ページ
項目名 めうし		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(42)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8301.76	メタクシ 〈古〉〈やせ 古めかしい〉	オナゴウシ
8302.55	オナメ 〈古〉	メヌ、 メウシ
8303.70	メヌ 〈牛に限って言う〉	オナメ
8312.75	meta メタクシとは言わない	
8313.72	oname 〈多〉	mera
8325.03	uno (ウは珍しい形である)	
8325.77	name 〈新. 方言名〉	oname
8332.42	mera メラウシとは言わない	
8335.83	onagouji 〈この方が多く使われるだろ〉	oname
8341.12	mettsü (単にメヌをこうい。牝牛を mettsü とえいう。)	merausi

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (43)
項目名 めし			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
8342.69	onagobe'bu <昔>	oname
8353.63	oname 木+メウレとは言わす:	
8354.14	oname [古]	onagousi
8361.31	metausi 会詞ってはいないか?	
8364.33	oname 多し.	onameusi
8373.43	oname ⑤mera 浜川氏によれば メラは メヌ(アヌ犬)ということ。	
9313.55	oname <希>	onāgousi
9322.52	onagousi <共>	merausi
0247.56	mī:usi <希>	uunami

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	④ 普通注記	ページ
項目名 めうし		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(44)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0257.43	mi:u:si 〈新〉	unam
0294.66	unani:u:si (木xウシx籠り)	
1231.88	uuna:mi: 中年以上の者を用いる。	mi:u:si
1251.98	jinagu:zu:si [mi:u:si と同じ]	
2095.60	uinan 〈子を産む 大きい牝牛〉	mi:ust
2150.07	mi:unam 〈古〉	mi:ust
2150.17	unan 〈古〉	mi:ust
	以上	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 220	地図番号 208	A 普通注記	ページ
項目名 めうし		(B) 除いた共通語	(1)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0840.33	meuʃi <希>	beko <古, 多> ʃi <多>
1942.03	meuʃi <言わないこともないか...>	ʃi <あつ見えはたてʃi> <mentabekoは言わない>
4672.19	meuʃi <共>	onagouʃi
5617.85	meuʃi <希>	onnaʃi <希>
5696.68	meuʃi <共>	ʃi <これʃiといえは 牝牛を指す>
6411.66	バゴタ <はらみ牛>	# オナゴ
6489.27	ホオバ <おろい>	x2 ✓

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
220	208	[B] 除いた共通語	
項目名		[C] 除いた特殊語	(2)
めうし			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6507.72	<英> ×ウシ	マス <他の動物がマスにも使>
6508.36	<英> ×ウシ	オナウシ
6572.55	oname <他... 但馬のオウシのイ> <sup>①</sup> meuji (この地方に但馬のオウシが多い)	menta <多> 牛のこにイ 犬はこにイワぬ。
6697.39	amakko <雌牛の子>	ama
7237.67	<新> meuji	onami
7312.69	meūsi (今)	ūno (昔)
7357.31	me'nsi <新>	usi
7504.27	meuji ([英?])	mej 単に牝の意
	以上	